



2021年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月28日

上場会社名 株式会社 アイ・エス・ビー
 コード番号 9702 URL <https://www.isb.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 一史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 竹田 陽一
 四半期報告書提出予定日 2021年5月17日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3490-1761

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	6,686	5.5	826	33.5	845	36.1	532	65.5
2020年12月期第1四半期	6,335	11.2	619	29.2	621	26.8	322	5.6

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 551百万円 (93.5%) 2020年12月期第1四半期 284百万円 (10.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	47.00	
2020年12月期第1四半期	31.54	

(注) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	13,561	8,949	66.0
2020年12月期	13,505	8,755	64.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 8,949百万円 2020年12月期 8,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		63.00	63.00
2021年12月期					
2021年12月期(予想)		0.00		29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 当社は2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期期末については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	3.0	820	7.2	850	6.1	490	1.5	43.21
通期	26,000	6.4	1,770	7.7	1,850	8.0	1,070	7.6	94.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	11,339,904 株	2020年12月期	11,339,904 株
期末自己株式数	2021年12月期1Q	112 株	2020年12月期	112 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	11,339,792 株	2020年12月期1Q	10,211,488 株

(注) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、第1四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響により、再度の緊急事態宣言が発令され、依然として厳しい状況にある中、設備投資や企業収益に持ち直しの動きがみられるものの、個人消費は低調な状況が続いております。政府による各種経済政策の効果やワクチン接種本格化への動きもあり、再び景気回復基調に戻ることが期待されておりますが、変異株による影響も深刻化しており予断を許さない状況が続くものと思われまます。

世界経済においては、米中貿易摩擦に改善の兆候は見られないものの、中国経済は緩やかに回復し、米国経済は底堅く推移するなど持ち直しの動きが見られますが、感染の再拡大による景気の下振れリスクがあり、今後の先行きは不透明な状況が続くものと思われまます。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、人手不足に対応した業務の効率化や自動化に加え、テレワーク対応、5G関連業務等堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、「～新しい一歩～ move up further」を新中期3か年計画のスローガンに掲げ、各種重点施策に取り組んでまいりました。引き続き同感染症への対策を徹底し感染予防とともに、生産性の維持に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高66億86百万円（前年同四半期比5.5%増）、営業利益8億26百万円（前年同四半期比33.5%増）、経常利益8億45百万円（前年同四半期比36.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億32百万円（前年同四半期比65.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（情報サービス事業）

情報サービス事業は、人手不足に対応した業務の効率化や、5G関連業務等が堅調に推移いたしました。「モバイルインフラ」は、5G向けの基地局業務やインフラネットワーク系業務が伸び、売上高は前年同四半期に比べ大幅に増加いたしました。「フィールドサービス」は、クラウド関連構築業務や運用支援業務を中心に拡大し、売上高は増加いたしました。「公共」は、官庁系のシステム再構築案件の受注が増加し、売上高は、前年同四半期に比べ増加いたしました。「業務システム」は、放送系で同感染症の影響を受けIT投資が減少し、前年同四半期並みの売上高となりました。

一方、「組込み」は、デバイス関連業務の受注が減少し、売上高は、前年同四半期に比べ減少いたしました。

利益面に関しましては、上記の増収に加え、要員稼働率の向上等により利益率が改善し、セグメント利益は前年同四半期に比べ増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は53億30百万円（前年同四半期比4.5%増）、セグメント利益は5億94百万円（前年同四半期比31.7%増）となりました。

（セキュリティシステム事業）

セキュリティシステム事業は、官公庁や大学向けの大型案件、既存セキュリティシステムのリニューアル工事等受注が好調に推移いたしました。一部工期の前倒しによる売上計上があったことに加え、CCUS（建設キャリアアップシステム）の現場への導入が増加いたしました。サーマルカメラ等の同感染症対応製品の販売等も堅調であり、売上高は、前年同四半期に比べ増加いたしました。

利益面に関しましては、上記の増収により、次期製品開発に向けた研究開発費の増加を吸収し、前年同四半期に比べセグメント利益は大幅に増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は13億56百万円（前年同四半期比10.0%増）、セグメント利益は2億32百万円（前年同四半期比40.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、135億61百万円と前連結会計年度末より55百万円増加いたしました。これは主として受取手形及び売掛金等の増加額が現金及び預金、商品等の減少額を上回ったことによるものであります。

負債は、46億11百万円と前連結会計年度末より1億38百万円減少いたしました。これは主として賞与引当金の増加額を未払金、未払法人税等の減少額が上回ったことによるものであります。

純資産は、89億49百万円と前連結会計年度末より1億94百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金の増加額によるものであります。

なお、自己資本比率は、66.0%と1.2ポイント改善いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第1四半期の業績は堅調に推移しており、利益面につきましては経常利益を除き第2四半期累計期間の業績予想を達成しておりますが、同感染症の感染拡大が今後の経営成績に与える影響が不透明であるため、第2四半期累計期間および通期の連結業績予想につきましては変更しておりません。

今後、公表すべき事実が生じた場合には、すみやかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,199,102	4,942,133
受取手形及び売掛金	4,452,676	4,874,142
前払費用	116,147	153,324
商品	487,081	370,229
仕掛品	93,049	129,483
貯蔵品	3,062	3,062
その他	76,308	92,490
貸倒引当金	△32,049	△34,520
流動資産合計	10,395,378	10,530,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	454,099	456,805
減価償却累計額及び減損損失累計額	△293,059	△297,132
建物及び構築物（純額）	161,040	159,673
土地	600,550	600,550
その他	599,789	597,977
減価償却累計額及び減損損失累計額	△440,592	△449,294
その他（純額）	159,197	148,682
有形固定資産合計	920,788	908,906
無形固定資産		
のれん	1,163,090	1,050,295
その他	65,470	57,388
無形固定資産合計	1,228,561	1,107,683
投資その他の資産		
投資有価証券	470,807	477,545
長期前払費用	3,878	3,399
差入保証金	265,505	266,238
繰延税金資産	144,992	189,221
その他	77,746	77,725
貸倒引当金	△1,963	△30
投資その他の資産合計	960,967	1,014,100
固定資産合計	3,110,316	3,030,690
資産合計	13,505,695	13,561,038

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,420,871	1,512,731
短期借入金	140,000	140,000
未払金	991,984	539,235
未払費用	109,846	168,840
未払法人税等	443,936	324,433
未払消費税等	542,891	452,415
賞与引当金	30,517	461,929
役員賞与引当金	75,985	86,753
受注損失引当金	1,610	17,679
その他	390,023	378,732
流動負債合計	4,147,666	4,082,751
固定負債		
退職給付に係る負債	226,213	235,306
役員退職慰労引当金	49,516	46,465
資産除去債務	81,461	81,750
繰延税金負債	47,817	—
その他	197,315	165,033
固定負債合計	602,324	528,556
負債合計	4,749,990	4,611,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,332,514	2,332,514
資本剰余金	2,936,693	2,936,693
利益剰余金	3,364,788	3,540,506
自己株式	△92	△92
株主資本合計	8,633,903	8,809,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161,324	165,458
為替換算調整勘定	△39,523	△25,350
その他の包括利益累計額合計	121,801	140,108
純資産合計	8,755,704	8,949,729
負債純資産合計	13,505,695	13,561,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	6,335,989	6,686,295
売上原価	4,721,497	4,777,030
売上総利益	1,614,491	1,909,265
販売費及び一般管理費	995,263	1,082,574
営業利益	619,228	826,690
営業外収益		
受取利息	1,836	2,767
受取配当金	1,100	16,000
その他	2,725	3,487
営業外収益合計	5,662	22,255
営業外費用		
支払利息	1,515	257
手形売却損	814	911
為替差損	698	2,001
その他	394	56
営業外費用合計	3,423	3,228
経常利益	621,467	845,717
税金等調整前四半期純利益	621,467	845,717
法人税、住民税及び事業税	349,046	406,666
法人税等調整額	△49,672	△93,869
法人税等合計	299,373	312,796
四半期純利益	322,093	532,921
親会社株主に帰属する四半期純利益	322,093	532,921

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	322,093	532,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,717	4,134
為替換算調整勘定	△636	14,173
その他の包括利益合計	△37,353	18,307
四半期包括利益	284,740	551,228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	284,740	551,228

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日 至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	5,102,818	1,233,170	—	6,335,989
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,356	3,572	△18,928	—
計	5,118,175	1,236,742	△18,928	6,335,989
セグメント利益	451,142	165,116	2,968	619,228

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日 至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	5,330,089	1,356,206	—	6,686,295
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33,872	5,499	△39,372	—
計	5,363,962	1,361,705	△39,372	6,686,295
セグメント利益	594,181	232,616	△106	826,690

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。